

島田修三学長が「第56回短歌研究賞」を受賞

短歌研究社主催「第56回短歌研究賞」に、島田修三学長の「いなあ長嶋」28首が選ばれました。実力ある作家が顕彰される短歌研究賞は、前年度の総合誌に発表された20首以上の作品を選考対象とし、作品の完成度の高さと、それまでの作家活動の実績が評価されます。選考委員の方々は島田学長に対して「他の

追隨を許さぬ独自の歌風」「島田作品の魅力は、題材の幅広さ、用語の自在さ」「その諧謔、ユーモア、歴史性、社会批評性や、デフォルメにデフォルメを重ねるような文体が独特」といった賛辞を贈りました。島田学長の受賞対象作品28首は「短歌研究」8月号に掲載されています。



創造表現学科3年・荒川莉乃さん アプリキャラクターを制作

一般社団法人名古屋コーチン協会や企業と連携し、本学の学生が開発に携わった名古屋コーチンアプリ「コウカツ」が公開されています。このアプリは、名古屋コーチンに関するゲームや飲食店マップなどの機能を搭載。キャラクターデザインを担当した創造表現学部創造表現学科メディアプロデュース専攻3年の



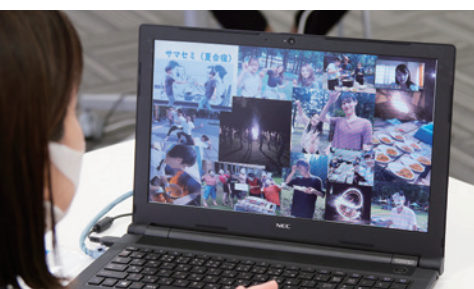
特設サイト「WEBオープンキャンパス」を開設

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、春・夏のオープンキャンパスを中止し、当日開催予定だった内容を動画で配信する特設サイト「WEBオープンキャンパス」を開設しました。大学全体説明や各入試の詳細説明の動画のほか、各キャンパスの施設紹介やクラブの紹介動画、学料・専攻説明や模擬授業、保護者向けガイダンス、公募制推薦入試対策講座などの動画を公開しています。さらに、7月25日・26日には学科・専攻の教員によるオンライン相談を開催し、多くの受験生・保護者の方にご参加いただきました。今後、「WEBオープンキャンパス」で愛知淑徳大学の魅力を発信していきます。



「オンライン新生歓迎フェスティバル」を開催

例年4月に開催している「新生歓迎フェスティバル」が、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止になりました。「新生のためにかかしたい」と考えた大学祭実行委員会やコミュニケーション・コラボレーションセンターの学生は、オンラインでの新生歓迎フェスティバルを発案。クラブ・



2020 淑徳体操

4月8日から5月20日までの休校期間に、自宅待機の生徒の運動不足を解消するため、体育教員が独自の「淑徳体操」を考案しました。身体ほぐし、ストレッチ、補強の3要素を取り入れ、スクールタクトで配信しました。生徒から曲を募集したところ、中学3年生・小田灯さんと中学1年生・鈴木深結さんの



高2進路講演会 大学の学びにふれる

10月1日、高校2年生の生徒を対象に、進路講演会を行いました。例年は6月に実施していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となり、この時期に開かれました。

10月1日、高校2年生の大学生生活の様子などをお話していただきました。大学の学びの一端にふれることにより、高校との違いに気づき、大学では自分自身の探究テーマを持つことが求められ、それを深め発展させる場所であるとあらためて知ることができました。5年後10年後の自分自身の姿を描きながら、自分の道を切り拓くことを願っています。



建築・インテリアデザイン専攻 展覧会・講演会

創造表現学部 創造表現学科 建築・インテリアデザイン専攻の「デザインワークショップ」を履修する3年生が、「増田信吾＋大坪克巨展それは本当に必要か。」の愛知巡回展会場を設計・施工しました。会期は9月12日～9月21日の10日間。展覧会の運営も学生が主体となっており、会場となった長久手キャンパスでは感染対策を徹底して来場者を迎えました。9月12日には増田氏ご本人をお招きして学生が会場を案内し「完成度が高い」と高評価をいただきました。同日に増田氏による講演会も行われ、オンラインで同時中継して学外の方々にも視聴いただけようになりました。

